

2024. 6

vol. 122

改訂版 vol. 52

女性委員会だより

らくだ



公益社団法人 岐阜県建築士会

〒500-8384 岐阜市藪田南 5 丁目 14 番 12 号

岐阜県シンクタンク庁舎 4 階

〈電話〉(058) 215-9361 〈FAX〉(058) 215-9367



はじめに

◆新任の挨拶

新女性委員長 岡田 利里

今年度から2年間、女性委員長を務めさせていただきます岡田です。

女性委員会のホームページを見て、楽しそう！と思って入会したのが約6年前。セミナーや見学会、全建女などに参加させていただき、それらを計画する立場も経験させていただきました。

これからの2年間、ホームページを見て、楽しそう！と思ってもらえるような、そして会員の皆さんがやりたいことが実現できる女性委員会でいられるよう、微力ながら尽力いたします。

幸いなことに、今の女性委員会には様々な分野でご活躍の会員がみえ、本年度の活動も色々な案が出てきております。古い建物から新しい建物まで、意匠から設備まで、建築から建築以外の内容まで、様々なテーマの活動が出来ればと思っております。

また2月には、『令和6年度ブロック美濃・関大会』を青年委員会と共同開催します。旧委員長の高野さんのお力を借りながら、他県の皆様に美濃・関の魅力を知って頂ける大会にしていきたいと思っております。

皆さま、どうぞよろしくお願ひいたします。先輩方、ご指導の程よろしくお願ひいたします。

◆退任の挨拶

前女性委員長:高野 栄子

みなさま、こんにちは。

このたび、私は建築士会の女性委員会の委員長としての任期を終えることになりました。この素晴らしい仲間と一緒に活動することができ、本当に光栄でした。まず、皆さまに心からの感謝の意を表したいと思っております。

女性委員会の委員長として、私は多くの方々と協力し、さまざまな取り組みを進めてまいりました。私たちの目標は、建築業界における女性の存在感を高め、私たちの声を届けることでした。その過程で、昨年度の東海北陸ブロック大会やたくみ女子会など数々の活動を行いました。皆さまのご支援と協力のおかげで、多くの成果を収めることができたと思っております。

新しい委員長には、この素晴らしいみなさんと共にさらなる発展を遂げる機会が与えられることを願っております。女性委員会は、建築業界におけるダイバーシティとインクルージョンの推進に貢献する重要な役割を果たしています。引き続き、この重要な使命を遂行するために、新しいリーダーシップのもとでチームが一丸となって取り組んでいくことを期待しております。

最後になりますが、私を支えてくださったすべての皆さまに心から感謝申し上げます。私の任期中に経験したすべてのことは、私にとって貴重なものとなりました。今後も、皆さまとのつながりを大切にし、建築士会の発展に貢献していきたいと考えています。

ありがとうございました。



◆楽しく委員会活動をいたしましょう

岐阜県建築士会 新副会長 小林 教子

皆さんお久しぶり(はじめましての方も?)です。この度副会長に就任し、女性委員会の担当となりました。女性委員の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。もちろん私自身も女性委員のままです。

ひと言挨拶をとのことですが、最近ボランティアとしての仕事しかしておらず、女性委員会や建築士会とも一歩下がった位置でのかかわりあい方しかしていないので、雑感という形で今までを振り返ってみました。

40年以上前、子育てしながら仕事をしていた時期、岐阜県の女性建築士の懇談会に呼ばれ出席したことがありました。女性の活用についての目標の数値に従って呼ばれたもようでした。

これがきっかけで建築士会へ入会したわけですが、目標値を設定しなければならなかった当時から時間は多く流れ、建築学を学ぶ女子も増え、当然女性建築士も増えているはずですが、社会で活躍をする事例が私の眼にはなかなかはいってきません。せいぜい現場監督が女性である会社のプロフィール写真が目につくくらいでしょうか。そのほかの方たちは今どんな仕事をされているのでしょうか。

入会当時は、連合会からの号令で女性委員会が始動した時期で、活動も青年委員会と一緒にこなっていたのを思い出します。

平成元年には、全国大会を岐阜で開催するとともに全建女の活動もスタートし、東海北陸の女性建築士連絡協議会も、岐阜で準備会が開催されスタートし、怒涛の時代でした。女性たちの活動も活発で、やる気に満ちていました。

現在は、青年と女性の各委員会は夫々独自の活動をしています。時には協働での活動もまた違う視点で臨めて面白いと考えるのは始動時期での協働作業が楽しい記憶となっているせいでしょうね。

いろいろあったことは、また機会があればお話できるかもしれません。

子どもたちが寝た後に 12 時まで図面を書き、それから夜中に士会の冊子作製などの作業をこなしていたのは、今考えると体力気力が充実していたのでしょう。

県からの委託事業が多くあった当時と違い、近年責

任がより重くなってきている建築士が、今本当に一般の方々に伝えたいことをアピールすることをそろそろ考えてもいいのではないかと考えるこの頃です。とはいっても、今は口だけで仕事をしているようなものなので、あまり気軽に言うことではないでしょうと怒られるかもしれません。

閑話休題。

あるボランティアの会合での話。今年元旦の能登地震の話題が出て、続いて輪島漆器の話をしていた時のこと。漆器の利用がだんだん少なくなってきて、古道具にしても漆器はなかなか売れ残り、それは扱いに手間がかかるからという話になったところ、その会は平均年齢も高くかつ男性が多く、当然のこと、その手入れは女性がするのが当たり前の雰囲気でした。

女性の社会進出が増え、家事の省力化に食洗機が当たり前となり、手間のかかる漆器よりウレタン塗装の食洗機対応の食器が好まれるようになったのは必然で、それでも漆器を使用したいと考えるのであれば、手入れはそれを望むものがすれば良いと思い、それを指摘した時の方々の反応は微妙でした。

手間をかける生活と、省力化を進める生活と、全く正反対の暮らしはそれを選択するものが生活に合った役割を固定観念で押し付けるのではなく、柔軟にこなしていける社会はもう来ていると思いますし、今盛んに言われている SDGs に対する考え方も様々あります。

さて、女性委員の皆さんには柔軟な思考と、機密な作業で日々の暮らし・仕事をこなしておられることと思います。ぜひその柔軟性を失わず、かつ楽しい暮らしがおくれるよう創意工夫をいたしましょう。楽しく活動しなければせっかくの時間がもったいない。

私の様に残りの人生を考えるようになる前に、十分に人生を楽しむ工夫をすることを皆さんに提案をして、挨拶とさせていただきます。





今回の記事

- ◇ はじめに
- ◇ 今回の記事
- ◇ 今後の予定・お知らせ
- ◇ 見学会「美濃市 うだつの上がる町並み」
日 時: 令和5年11月12日(日)
会 場: 関市内、美濃市内
- ◇ セミナー「メイクアップ講座」
日 時: 令和5年11月14日(火)
会 場: ふれあい会館 403 会議室
- ◇ 第7回たくみ女子会
日 時: 令和5年12月16日(土)
会 場: ハートフルスクエアG 大研修室
- ◇ 建築士会東海北陸ブロック会女性建築士協議会
令和5年度ブロックなごや大会
日 時: 令和6年2月24日(土)～25日(日)
会 場: アイリス愛知
- ◇ 第22回 気楽にらくだ会
日 時: 令和6年3月13日(水)
会場: 三菱電機ビルソリューション(株)
稲沢ビルシステム製作所

◇ 新入会員紹介

◇ 編集後記



今後の予定・お知らせ

- ◆ 建築士会東海北陸ブロック会女性建築士協議会
令和6年度 前期定例会議
日時: 令和6年6月22日(土)

- ◆ 令和6年度 全国女性建築士連絡協議会東京大会
日時: 令和6年7月14日(日)～15日(月)



見学会

「美濃市 うだつの上がる町並み」

- 日 時: 令和5年11月12日(日)
10:00～12:00
- 会 場: 関市内、美濃市内
- 主 催: 青年委員会
- 参加者: 女性委員会から2名

- 午後から建築士会東海北陸ブロック会青年建築士協議会 第2回会議
13:30～17:00
- 会 場: わかくさ・プラザ(関市若草通2丁目1)
WEB 会議

◆令和5年度

東海北陸ブロック会青年建築士協議会

研修事業・第2回定例会議に参加して

報告者: 高野 栄子

青年建築士協議会の研修事業と第2回定例会議に参加しました。午前中は次年度ブロック大会の分科会で取り上げる予定の美濃市の「伝統的建造物保存地区」を見学しました。曇り気味の天気でしたが、雨もふらずに快適に町歩きができました。

午後からは関市のアテナ工業アリーナに移動して、定例会議でした。女性協議会とはやり方が違うのでとてもびっくりしました。主な協議内容は来年2月に行う「ブロックなごや大会」についてでした。愛知の提案に各県から質疑や意見が飛び交い、なかなか活発に発言される

会議でした。3時間の予定を大幅に延長し、最後は会議室の返却時刻が過ぎてしまいました。

今回会議に参加して気がついた事を報告します。

- ・青年委員会の会議はお茶とお菓子ができません。
 - ・にぎにぎしく建築士会の綱領を唱和します。
 - ・ブロック大会開催県の企画内容が細かく審議されま
- す。

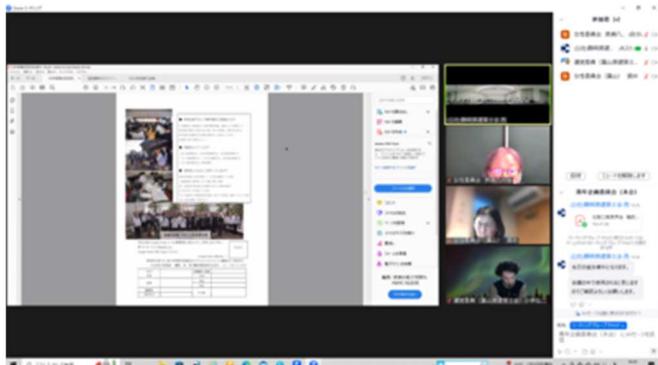
以上女性協議会とはだいぶやり方が違うことを知りました。次年度は岐阜県です。徐々に準備も本格的に進んでいますが、青年が大変なことがよく理解できたので女性委員会としても出来るだけ青年委員会がやりやすいように協力していこうと思いました。



(↑美濃市 うだつの上がる町並み)



(↑関市 アテナ工業アリーナ 会議室)



(↑ WEB 参加者から見た会議の様子)



「メイクアップ講座」

日 時:令和5年11月14日(火)

13:00~14:30

会 場:ふれあい会館 403 会議室

参加者:8名

講 師:Groom Salon & Spa オーナー 永田辰幸
先生

◆イメージアップ講座の報告

報告者:岡田 利里

11月14日(火)に Groom Salon & Spa オーナーの永田辰幸先生によるイメージアップ講座を行いました。参加者は8名でした。

若々しく見える人の特徴は、①肌がきれいで張りがある ②髪につやがある ③姿勢が良い ④メリハリのある体形 ⑤ファッションがおしゃれ

ということで――

まずはきれいで張りのある肌を目指すためのフェイスマッサージです。先生の良きパートナーであるマイコ店長のお手本に習い、私たちもマッサージをしました。お手入れの際に化粧水や乳液の上から行くと、肌への刺激が軽減できて良いようです。

パーソナルカラーについても、時間の都合上簡単に教えて頂きました。血管が青く見える人はブルーベース、血管が緑に見える人はイエローベースですが、ファンデーションを塗った顔は本来の肌の色とは違う場合があるので、一概にブルベやイエベと決めつけず、メイクをした顔に合うようにする方が良いでしょう。カラーに関しては、大人女性への提案のポイントは、中明度、中彩度で立体感のあるヘアカラーデザインとのことでした。

つやのある髪や張りのある肌にするためには、頭皮をほぐすことが大切です。その為のブラッシングの仕方を

教えて頂きました。頭皮をしっかりとブラッシングするためには、頭皮を傷つけないパドルブラシがおすすめの様です。上へ下へや、後頭部をくるくるとブラッシングすると、頭皮がポカポカしてきました。ブラッシング前と後をスマホで写真を撮って比較してみました。変化を感じた人もいましたが、私は分かりづらかったです。継続が大切ということでしょう。

ケアの基本は、『自分に合うものを正しく使うこと』これを間違えると、色々なものを使ってみては別のものに手を出すという悪循環になってしまいます。

先生のお話は面白く、女性ばかりで和気あいあいと楽しく学ぶことが出来ました。教えて頂いたことを実践し、効果が出ることを期待したいです。



(↑ 先生の自己紹介の様子)



(↑ フェイスマッサージ実践の様子)

第7回たくみ女子会

日時:令和5年12月16日(土) 13:45~16:15

場所:ハートフルスクエア-G 大研修室

(岐阜市橋本町1丁目10番地23)

参加者:39名

◆「たくみ女子会」報告

報告者:田中 佐企

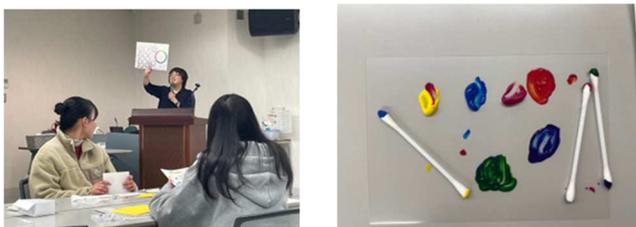
昨年に引き続き、岐阜県立国際たくみアカデミーとの共催で建設業界における女子のネットワーク構築を目指し「たくみ女子会」が開催されました。

今回はアドバイザーとして県内工務店様より7名、建築士会より6名、学生一般より20名、オブザーバーの高校の先生2名、たくみアカデミー・建築士会関係者4名合計39名で開催されました。

プレイベントとして、「ぎふカラ」の色彩士でもある女性委員会の桂川さんを講師にカラー講義が行われました。「赤」「青」「黄」の三原色を混ぜ合わせて色を作っていく「混色」、色(インク)と光(モニター)の三原色の違い、色(インク)と光(モニター)の三原色からなる「色相環」をベースに調和のとれた色作りのポイントを学びました。最後に「青」と「黄」のみを使って日に照らされた樹木を色づけていく「ナチュラルハーモニー」という配色方法を実践しました。同じ講師の説明を受けても、一人一人それぞれの個性を活かした樹木が表現されているのがとても興味深く感じられました。



(↑ 講義の様子)



(↑ 講師の桂川さん) (↑アクリル絵の具を使って)



(↑ 皆さんの作品の一部)

その後のグループトークは各回 20 分程で2回行われました。

我々のグループの学生・求職者からは以下のような質問がありました。

- ・工業高校卒で2級建築士の受験資格を取得するが、受験するタイミングはいつがいいか。
- ・子育て中だが、時短で働くという働き方は可能か。
- ・現在高1だが、在学中に取っておくと良い資格は何か。
- ・アドバイザーの方が建築を目指したきっかけは何か。
- ・インテリアコーディネーターになりたいが、見た目の制約はあるのか。(髪の色やピアス、ファッションなど)
- ・1級建築士はめちゃくちゃ儲かるイメージがあるが、実際どうなのか。など

どの質問にもアドバイザーの方が丁寧に答えられました。女子会というだけあって、本音トークも炸裂で参加者の方々にはリアルな現場の雰囲気が伝わったのではないかな、と感じています。その他、アドバイザーの方から、実際の現場において女性として良かったこと、悪かったこと、男女の格差を感じた瞬間などをお話いただきました。お話を伺って、皆さん現場では大事にされているんだな、という印象で、職人さんとの付き合い方も難くならず若い女性たちがとても魅力的でした。ただ、

どうしても男性との力の差は皆さん感じているようで、なめられないようにとの思いから日々頑張っている姿がうかがえました。けれど、女性がいることで現場の雰囲気が和むなど、男性とは違った役割も担っているということを自覚して働かれてみえる方が多く、これからも女性が多く活躍できる場が作っていただけるのでは、と期待が持てました。トークを進行していく中で感じたことは、もう少しグループトークの時間があっても良かったな、ということです。どうしても学生・求職者の方の質問にアドバイザーが答えるという形になってしまい、一通り話し終えたら時間終了！という感じでしたので、もっとアドバイザーから学生・求職者の方への質問ができたりすると良かったな、と思いました。参加者の方々のアンケート内容は拝見できていないのですが、皆さんにとって大変有意義な時間が過ごせたのではないのでしょうか。ぜひ、来年もたくさんの方に参加して楽しい会にしたいです。



(↑ グループトークの様子)



(↑ 受付の様子)



女性建築士協議会

令和5年度ブロックなごや大会

青年建築士協議会と共催

日時: 令和6年2月24日(土)～25日(日)

プログラム:

【1日目】

- 開会式 (青年建築士協議会と共催)
- ブロック事業発表(分科会)
 - 1部:見学会 名古屋城本丸御殿
 - 2部:講演会

「温故知新のまちづくり～名古屋での実践と課題」
講師 溝口正人氏(名古屋市立大学大学院教授)

- 懇親会 (青年建築士協議会と共催)
- 宿泊

【2日目】

- 後期定例(愛知)会議 (ハイブリッド会議)
- 閉会式

会場: アイリス愛知

(名古屋市中区丸の内2丁目 5-10)

参加者: 女性建築士協議会参加者のみの人数

- ブロック事業発表 : 対面のみ 46名(内岐阜県からの参加者8名)
- 懇親会 : 対面のみ 32名(内岐阜県からの参加者4名) 女性参加者の人数
- 後期定例(愛知)会議: 39名 (内岐阜県からの参加者4名)

(ハイブリッド会議) 対面: 34名 WEB: 5名



◆なごや大会に参加して

報告者: 長瀬 八州余

今回は青年建築士協議会と共催で「なごや大会」を開催することになりました。

平成30年度(2018年度)は三重県の亀山市にて共催でした。

令和元年度(2019年度)は愛知県が開催県でしたが、東海北陸ブロック会女性建築士協議会が、30周年ということで、女性は、独自で開催したいということで、青年と別れての開催となりました。しかし女性建築士協議会はコロナの拡大に伴い、急遽中止となりました。

令和2年度は、石川県、令和3年度は富山県が開催県でしたが、コロナ禍ということでリモートでの開催となり、令和4年度(2022年度)では、青年は静岡県浜松市で、女性は運営委員長の所属県での開催ということで、岐阜県下呂市での開催でした。

今回、5年ぶりの、対面での、共同開催となりました。

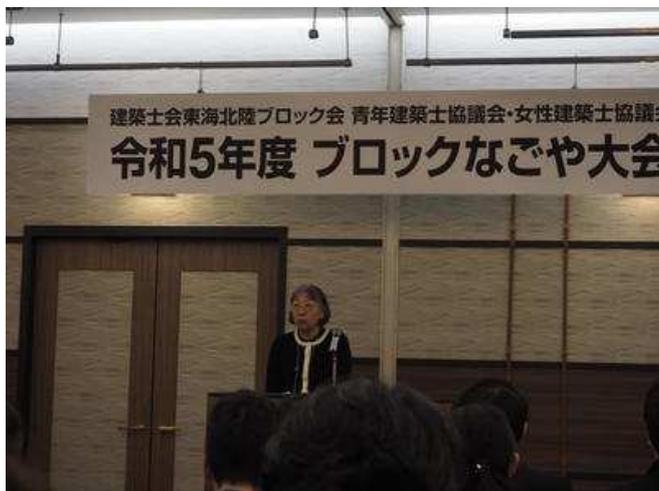


(↑ 受付の様子)

開会式では、聯合会の近角会長は所用で欠席でしたが代理で、副会長の飯尾清三氏(静岡県建築士会会長)が挨拶をなさいました。



(↑ 飯尾氏の挨拶の様子)



(↑ 女性建築士協議会運営委員長の挨拶の様子)

開会式後、女性建築士協議会は、分科会1部の見学会で4班に分かれて、徒歩にて、名古屋城本丸御殿へ向かいます。ボランティアガイドさんの説明を受けての見学でした。愛知建築士会会長の濱田さんは女性建築士協議会の分科会に参加してくださいました。



(↑ ボランティアガイドさんからの説明を受ける)

分科会2部はアイリス愛知に戻り、講演会です。

講師は名古屋市立大学大学院教授の溝口正人氏でテーマは「温故知新のまちづくり～名古屋でも実践と課題～」でした。



(↑ 講演会の様子)

今回は会場と宿泊が同じ建物だったので、移動が楽でした。

懇親会は開会式と同じ会場で、席に着いての会食でした。

青年と一緒にということで、青年建築士協議会の活動報告投票結果発表がありました。

青年が長年おこなっている、地酒の紹介もありました。愛知建築士会会長の濱田さんが、僕たちが青年の頃にはもうおこなわれていたと話をうかがいました。



(↑ 懇親会場の様子)

懇親会后、女性は和室に集まって、座談会の席を持ちました。

二日目は「令和5年度後期定例(愛知)会議」でした。

石川県からは、リモートでのみの参加となっていました。相談役の矢尾さんが、朝金沢を出て、対面での参加が叶いました。

来賓として、愛知建築士会会長の濱田さんから言葉をいただきました。

閉会式は、女性のみでの開催となりました。



(↑ 次期運営委員長 富山県 酒井さんの挨拶の様子)



(↑ 愛知建築士会 濱田会長 挨拶の様子)

会議が少し延びてしまい、会議室退去が12時半だったので、少し慌ただしい閉会式になってしまいました。

この二日間で、令和6年能登半島地震の支援金ということで、愛知建築士会女性委員会が寄付金箱を置いて、寄附を募ってくださいました。

二日間で40,162円の寄附が集まりました。

この寄付金は石川県建築士会の女性委員会、青年委員会が能登地震支援関連の活動をおこなう時の一助と活用していただくように、今回参加の矢尾さんに渡しました。



(↑ 石川県とリモートでの会議の様子)

年の初めに「令和6年能登半島地震」ということで、中止にはどうかという話も出ましたが、女性建築士協議会では、まわりの私たちが、日常生活を送る事が支援に繋がるという意見が多く、開催することになりました。

石川県からも、開催してもらえて良かったと言ってもらう事ができ、良かったと思っています。

愛知県には、当初の予定では、会議も対面のみということでしたが、石川県がリモートでの参加でしか難しいと言うことで、急遽ハイブリッド会議となり、いろいろと会場設営が大変だったと思います。愛知県の皆様本当にありがとうございました。

会議終了後の「令和6年能登半島地震 報告会」では石川県の生の声を聞くことが出来ました。ニュース等には出てこない、個人の体験談を聞くことができ、身につまされる思いでした。

有意義な二日間を過ごすことが出来ました。

◆名古屋城本丸御殿の

見学会に参加して

報告者:森崎 麻充

名古屋城の見どころを、ボランティアガイドの方に説明していただき、効率的に見学することができました。

西南隅櫓の鬼瓦には、名古屋離宮時代に宮内省により修復されたため、菊のご紋が入っています。また、石垣には、築造を命じられた大名の刻印が見られます。これまで何回か訪れた名古屋城ですが、これらは初めて聞きました。

本丸御殿は、部屋のランクにより、襖の絵や天井などの仕様が異なっており、大変興味深く見ることができました。当時の様子を再現するとともに、現代の名工たちの技術が融合され、独特な空間を醸していました。中でも彫刻欄間の見事さは、圧巻です。

天気もよく、充実した見学会でした。

ご尽力いただきました愛知県の女性委員会の皆様に御礼申し上げます。



(↑分科会 1部見学会 岐阜県からの参加者8名にて集合写真)



(↑ アイリス愛知から名古屋城へ向かう道中の様子) 名古屋城敷地内は写真を許可なくHPにUPすることが出来ません。

なので見学のような写真はありません。

◆分科会 2部

テーマ

「温故知新のまちづくり～名古屋での実践と課題～」

講師 溝口 正人氏(名古屋市立大学教授)

報告者:伊藤 麻子

都市の歴史の「見える化」としてのまちづくり

魅力があるまち＝都市の歴史の発見があるまち・・・この観点からお話を頂きました。

令和4年に施行された「歴史まちづくり法」は、地域における歴史的風致の維持及び工場に関する法律で、国交省+農水省+文化庁で共同提案された法律です。

近年建築産業では、人口減少に伴う税収の減少でスクラップアンドビルドからリノベーションへと移っていて、今ある建物や町並みをどう活かすかが鍵となっています。何を残し何を变えていくか。その地域での重要な歴史の見える化を実践していくべき。また、災害が頻発する昨今ですが、昔ながらの市街地であっても普段から準備をして防災地区として機能できるという事でした。

これについてどこを評価するかについては文化財評価の基準と同様である。

以下、登録有形文化財登録基準より

1. 国土の歴史的景観に寄与しているもの
2. 造形の規範となっているもの
3. 再現することが容易でないもの

具体例として、名古屋城周辺と有松市を挙げられました。名古屋城を見学した直後であったので、理解しやすく興味深く聞きました。見学の名古屋城本丸御殿は資料が多く残っていて再現に大変役立ったが、モノクロ写真がほとんどなので彩色は想像が頼りだったこと。復元については、オリジナルが不明なら不明なまま残し、後生の技術に委ねてはっきり境目を残す・・という修復の要点のお話が有りました、当時の技術の再現と復元、継承の意味で大いに意義のある事業であった事を学びました。

これまで私は、国内外で世界遺産級の建築物が鉄骨やガラスでモダンに追加修復されているのに違和感を禁じ得ませんでした、しかしこのお話でおおいに納得し、大変長い目で保存の考え方を教えて頂きました。

終始軽妙な語り口での魅力的で楽しいお話でした。



(↑ 講演会後の集合写真)



(↑ 講師の溝口氏)

◆懇親会に参加して

報告者: 桂川 麻里

愛知県で、青年・女性と合同でブロック会を合同で行うことは11年振りだそうです。岐阜県でも来年度合同で行うのは12年振りということになるので、参考になるように懇親会で楽しみながら色々なことを確認しました。

私が青年と合同で行う時は立食形式で、女性単独ですと着席形式だという印象があります。

立食形式ですと、同じ県で集まってまずは料理を持って来て一通り食べつつ歓談して、他席へ移動という感じですが、着席形式ですと、まずは同じテーブルになった他県の方と交流を深めて、他の方との歓談を楽しめるので良いなと思いました。食事もデザートまでゆっくりおいしく頂きました。

食事の合間には女性委員会の活動報告がスクリーンに順番に映し出されていました。青年委員会は静岡県の方に記念品の贈呈を行いました。他に活動報告の表彰も行い石川県の『たてものずかん けんちくしになろう』～建築に関する絵本づくり～が最優秀賞に選ばれ、富山県の『建築技能者連帯事業』が準優秀賞となりました。

女性はその記念品の贈呈の内容や活動報告を聞いていないので、内容が分からず残念でした。各県の地酒の紹介もあり、紹介後それもおおいしく頂きました。最後に全員で写真撮影を行いました。みんな笑顔で楽しい懇親会でした。

来年度は岐阜県で楽しいおもてなしが出来ればと思います。



◆【座談会】の報告

報告者：岡田 利里



(↑ 懇親会での集合写真)



(↑ 懇親会にて、次回令和6年度みの・関大会の案内をする岐阜県建築士会員の様子)



(↑ 懇親会場の様子)

何年ぶりかのブロック大会での座談会は、私にとっては初めての座談会でした。運営委員長と事務局を2年間務められた長瀬さんと桂川さんにお疲れさまでしたとねぎらいの言葉から始まりました。

愛知4名、富山3名、三重2名、福井1名、岐阜4名で、飲み物とお菓子を頂きながらざっばらんにお話をしました。

各県の活動状況のこと、担当している審議会委員のこと、それから能登半島地震のこと等... 1時間程度でお開きとなりました。

このところ開催されていなかった座談会ですが、前期はWEB会議となり、後期ブロック会議は、他県の運営委員さん達と顔を合わせられる貴重な機会となりました。さらに、ひざを突き合わせてお話しできる座談会で一気に距離が縮まった楽しい夜となりました。



(↑ 座談会の様子)

◆令和5年度 後期定例(愛知)会議報告

報告者：高野 栄子

2月25日(日)9:00～ アイリス愛知2階 サフランにて今年度後期会議が開催されました。

石川県は全員リモート参加と聞いていましたが、急遽相談役の矢尾さんが当日名古屋に見えて参加され、連合会の活動を報告されました。またせっかくですので被災地報告もお聞きしました。

矢尾さん他2名の方が震災の報告をされ、何が起きたのか、いまどうなっているのかがほんとによくわかりました。同じブロックの隣の県で起きたとても大変な災害に言葉もありませんでした。前日からのブロック大会にて参加者からの募金を集め、石川県の青年・女性委員会の支援金として進呈されました。公の機関に寄付するより直接石川県の委員の方に手渡することで有意義に使って頂けると思いました。

会議は各県の事業報告、今年度の連合会、ブロック会の報告に引き続き審議を行い、協議をしました。

各県の活動報告で私が気になって事では

石川県：昨年7月に全国女性建築士協議会が金沢で開催されその運営が大変だった

福井県：住育活動に力を入れている

三重県：伊賀市の庁舎が改築されその見学会を開催された。旧庁舎は保存利活用が決まっているとのこと

富山県：スマホカメラの講座を開催される、時代に即したセミナーだと思う

愛知県：住育活動ですまいのえほんWSを行う

でした。それぞれいろいろと活発に活動され興味深くお聞きしました。

協議事項として 前期定例会議の件、令和6年度ブロック大会の件などと共に協議会の運営、マニュアルの見直しについて話し合いました。特にマニュアルについては作成当初より時代も代わり、前期はweb会議になるなど大幅に改訂が必要な事を確認し、現役員の中で改訂を進めていただくことになりました。

・各会議の名称の統一

・様式、書式の統一

について話し合い各県意見を出してわかりやすい、使いやすいマニュアルへ変更することで一致しました。次回

6月の前期会議には整った書式で開催出来ると思いました。

最後は今年度で退任される長瀬委員長のご挨拶、次年度からの委員長をお受け頂く富山の酒井さんのご挨拶があり終了しました。

今回も中身のあるとても良い会議でした。



(↑ 開催県 愛知県 深見委員長 挨拶の様子)



(↑ 長瀬運営委員長 挨拶の様子)



(↑ 会議の様子)



第22回 気楽にらくだ会

日時: 令和6年3月13日(水) 11:30~16:00

見学場所: 三菱電機ビルソリューションズ(株) 稲沢ビルシステム製作所

(愛知県稲沢市菱町1番地)

参加者: 10名(内女性委員: 8名)

プログラム

11:30 集合

11:45~12:30 ランチ(稲穂荘にて)

12:40~13:15

令和5年度 第6回女性委員会 会議室

13:30~13:50 製作所紹介(DVD)

13:50~14:20 ショールーム視察

14:20~14:40 試験棟『ソラエ』視察

14:40~15:30 工場視察

15:30~15:40

スパイラルエスカレーター視察

15:40~16:00 まとめ 終了



(↑ 会議の様子)



(↑ 会議の様子)



(↑ 石川県とのリモートの様子)



(↑ 試験棟「ソラエ」をバックにして集合写真)

◆視察報告

報告者:津川 文江

稲沢ビルシステム製作所は、1964年に三菱電機のエレベーター・エスカレーターの専門工場として設立されました。JR 稲沢駅近くにそびえ立つ白い試験塔 ^{ソラエ}SOLAE (173メートル)が目印です。この試験塔の付属棟ショールームにてDVDによる製作所の紹介説明を受けた後、ショールームを見学しました。

エレベーターのビル空間の快適性・安全性について説明を受け、人や建物・町をスマートにつなぎ、より暮らしの快適性を追求しているそうです。エレベーターホールのエントランスの混雑を緩和する為に、ICカードにより登録された行先階への輸送効率を向上させたセキュリティ連動エレベーターがありました。また、スマートフォンサービスとして専用スマートフォンアプリを開発し、ハンズフリーでエレベーターの自動呼出しや行く先階の自動登録等様々なシーンでの、ビルのスマート化を提案しています。

エスカレーターにおいても、安全対策・安心機能についての説明を受け、製造工場内を見学しました。とても、整頓され清潔な工場でした。

その後 173メートルの試験塔の上部迄上昇し、稲沢市内を展望しました。なぜこの塔を 173メートルにしたのか？ それは、いなざわから 173を考えたそうです。下降する際に案内の方がいかに揺れないか静かであるかを下降するエレベーターの床に 10円玉を立てて証明していただきました。10円玉は、倒れませんでした。

また、世界初のスパイラルエスカレーターを開発し、海外で受注しているそうです。このエスカレーターにも安心・安全・思いやりがあり、このショールームに設置された乗ることが楽しくなるスパイラルエスカレーターを体験しました

三菱エレベーター・エスカレーターは、海外の 90 を超える国々で稼働し、この稲沢ビルシステム製作所は、世界で稼働している三菱エレベーター・エスカレーターの品質を統括するマザー工場として製品品質の維持と向上を支えているそうです。

社会貢献活動や工場見学やイベント開催などで直接地域との触れ合いをしているそうです。この見学を通じて、三菱エレベーター・エスカレーターの安全・安心・快適性を理解することができました。



(↑ 昼食の様子)



(↑ 稲穂荘前にて集合写真)



(↑ 会議室をお借りして、見学会前に女性委員会をおこなった。)



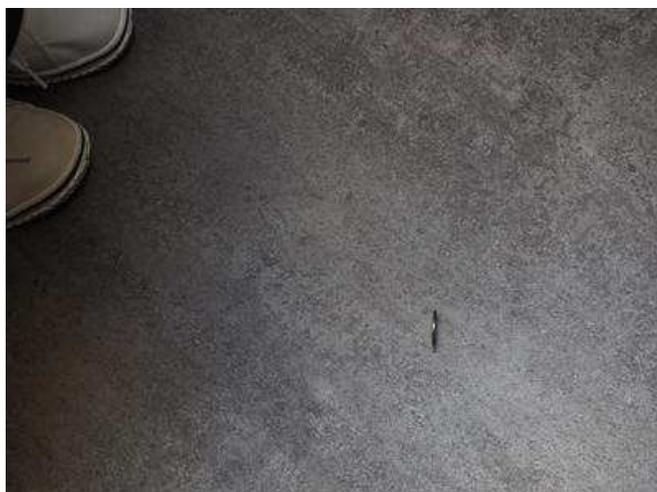
(↑ 三菱関係者の挨拶の様子。その後映像で説明を受けている。)



(↑ 展望台からの景色。稲沢の町が見渡せると共に、遠くまで見えます。)



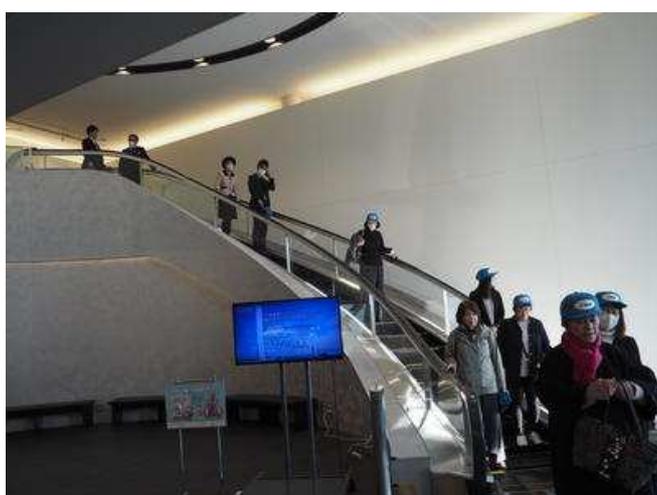
(↑ ショールーム視察の様子)



(下りのエレベーター内にて、10円硬貨を立てている様子)



(↑ 展望台にて集合写真)



(↑ スパイラルエスカレーターに乗って)



(↑ 出されたお茶と紙コップ。)

お天気にも恵まれ、展望台からは遠くまで見渡す事ができました。

担当していただきました 庄野様 北沢様 田子様 はじめ関係者の皆様 お世話になりありがとうございました。



新入会員紹介



中濃支部 上杉 九未

この度、岐阜建築士会女性委員会に参加させていただくこととなりました中濃支部の上杉九未と申します。現在は、個人事務所にて主に住宅設計を中心に仕事をしています。今回、ヘリテージマネージャー等人材育成講習会にて、お声掛けをして頂き入会することとなりました。まだ知識も経験も浅いため、多くの立場の方々との交流の場を得て自分自身の糧とし向上する機会を拓ける事ができるように参加させていただきます。どうぞよろしくお願い申しあげます。



編集後記

52号をお届けします。

6月の発行ということで、マークは睡蓮(スイレン)を使用しました。

令和5年度後期(11月～3月)の報告となっています。

全国的には、会長職を女性が担っている県も有りますが、岐阜県建築士会に初めての女性副会長が誕生しました。

皆様からの投稿はいつでもお待ちしております。

また、編集参加、問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

編集委員(長瀬)

公益社団法人 岐阜県建築士会
岐阜市藪田南5丁目14番地12号
岐阜県シンクタンク庁舎4階



TEL 058-215-9361 FAX 058-215-9367

<http://www.gifukenchikushikai.or.jp/>

Eメールアドレス kensi578@juno.ocn.ne.jp

※ 女性委員会担当まで宜しくお願い致します

